

第42回 日本薬剤師会学術大会(滋賀)

ポスター発表

服薬指導の充実に向けて

—薬情裏面の活用—

あゆみ薬局 中園 千春

<はじめに>

窓口での服薬指導・体調の聞き取りなどは、薬剤師としての重要な仕事。

患者さんにその意義をわかっていただき、充実した服薬指導を行いたい。



そこで、

現在当薬局で行っている、情報が記載されている薬情裏面が活用できないか、探ってみた。

服薬指導時、「あなたのお薬内容」(以下薬情)を見せながら、指導している。

しかし、

- ・薬の内容が変わらない
- ・医師から聞いているので、わかっている
- ・変わった時だけでよい

だから、薬情不要

どうしたらうけとってもらえるか

そうだ、

月替わりで薬情裏面にいろいろな情報を載せよう。


そこで、

2007年12月～ 2枚以上薬情がある方のために、
2種類の情報をソートでカラー印刷し、提供している。

<実際の薬情裏面>

インフルエンザの季節到来

毎年冬になると流行する「インフルエンザ」は、「かぜ」とまちがわれやすいのですが、感染源となる病原体や症状の出方が異なります。

<p>症状</p>	<p style="text-align: center;">明けましておめでとうございます 今年も皆様のお役にたてるよう、健康にまつわる様々な話題をお知らせして よろしくお願ひ致します。</p>
<p>重症化</p>	<p style="text-align: center;">「おくすり手帳」を上手に使いましょう!</p> <p>Q. おくすり手帳って何でしょう? A. 「おくすり手帳」は、今まで服用したり、使ったりしたお薬の名前や飲む量、そして過去に経験した副作用などを継続的に記録するための手帳です。</p> <p>Q. おくすり手帳の役割は? A. ①薬の重傷や相互作用を避けることができます。同じ薬による副作用の再発を防止できます。 ②災害・事故・急病・入院時に適切な処置が速やかに受けられます。 ③手帳の記録をもとに医師、歯科医師、薬剤師の連絡が円滑に進みます。毎自分に合った薬の名前は用だったかな?というときにも医師に相談しやすいです。</p> <p>Q. おくすり手帳の使い方は? A. ①病院・医院・歯科・薬局に行くときには毎日持ち歩いて服用歴を医師・薬剤師に見せましょう。薬局では処方されたお薬を記入してもらえます。 ②複数の医療機関にかかる場合でもおくすり手帳は1冊にまとめましょう。 ③いつも携帯しましょう。</p> <p>おくすり手帳は薬局で無料でお返しいたします。薬局で自己負担のある方は、お薬手帳への記入・飲み合わせ確認などに数十円程度負担金があります。平成20年4月より後期高齢者(75歳以上)の患者さんにはおくすり手帳を必ず持っていただくことになりました。この場合負担金は必要ありません。おくすり手帳についてわからないことは、遠慮なく薬剤師に口相談ください。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p style="text-align: center;">医療懇談会開催のお知らせ</p> <p>日時：6月7日(土) 15時から</p> <p>場所：あゆみ薬局 待合室(1F)</p>

インフルエンザの発症のどの乾燥を防ぐための外出から帰ってきたら、

<注意> インフルエンザ薬剤師に

インフルエンザの注異常行動については、因果関係はまだ確立された目を離さず(特に処方した医師に、すく

薬局では、お薬をお渡しするよね、でも、TVのCMでは「水が足りないのではないでしょ

か???

現在、「水がしてOK」とおみ砕けること」と言う意味でいるお薬です。

これらのお薬は、口の中で溶す。そして唾液とともに飲

それでは、普通の薬を水が水がして飲むと、胃や腸で薬して食道潰瘍を生じることも



<薬情裏面の内容>

病気・くすりに関すること

- ・インフルエンザ
- ・熱中症
度
- ・骨を丈夫にする体操
- ・腰痛の話
らせ
- ・睡眠の悩みについて
- ・噛み砕いて服用するくすり
- ・片頭痛
- ・花粉症の季節を快適に

制度などに関すること

- ・医療費控除
- ・後期高齢者医療制
- ・お薬手帳と活用法
- ・医療懇談会のお知

2009年4月、薬情裏面の情報に関する、患者さんへのアンケートを実施した。

あゆみ薬局 アンケート

あゆみ薬局では、お薬をお渡しするとき、薬の名前とその薬についての簡単な説明を記載している「あなたのお薬内容」の裏に、月替りでいろいろな情報を載せています。それについてのアンケートです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

性別 男 女

年齢 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

① 読んでいただいていますでしょうか。

1. いつも読んでいる 2. 興味あるものだけ読んでいる 3. 読んでいない

② ①で読んでいると答えられた方に

今までの情報の中で役に立ったなあ、参考になったなあと思われる情報がありましたら、○をつけてください。(複数回答可)

- a インフルエンザ b 医療費控除 c 後期高齢者医療制度 d お薬手帳と舌用法 e 片頭痛
f 睡眠の悩みについて g 熱中症 h 骨を丈夫にする体操 i 腰痛の話
j 噛み砕いて服用するくすり k 花粉症の季節を快適に l 医療懇談会のお知らせ

③ 他に、こんな情報がほしいというのがあれば、お書き下さい。

[]

④ 一昨年から情報を記載するようになりました。以下であてはまるものがあれば、○をつけてください(複数回答可)

1. 毎月、楽しみにしている 2. ファイルして残している 3. 友達に話らせている
4. 今までとは捨てていたが、目を通すようになった 5. カラー刷りでよくわかる
6. 書いてあることを実践した(具体的に)

⑤ 「あなたのお薬内容」の裏に情報を載せることについて

1. 載せたほうがよい 2. 載せないほうがよい 3. どちらでもよい

⑥ あゆみ薬局へのお声を聞かせてください。叱咤激励など何でもけっこうです。

[]

ご協力ありがとうございました。このアンケートをもとに、より良いものにしていきたいと思っています。

<アンケートの結果>

- 約80%の方に読んでいただいている。
- 今まで捨てていたが、目を通すようになっていただけた。
- 病気や薬のことだけでなく、制度についての関心も高い。
- ほとんどの方が載せたほうが良いと思っておられる。

患者さんの支持が得られている

アンケートのその他ご意見に

「窓口で体調を聞かれたり、薬について説明されても医師から聞いているので必要ない」との意見が数名あった。




服薬指導の重要性について、もっとアピールする必要がある。



「わたしたち薬剤師のしごと」というテーマで裏面に掲載した。

わたしたち薬剤師の仕事



わたしたち、保険薬局に勤務する薬剤師の仕事は、**処方箋の調剤・監査・服薬指導**があります。また、主に往診されている患者さんのお宅へ、医療機関の依頼を受け、**配薬**に行くことなどもあります。今日は、1Fカウンターで皆さんにお薬をお渡しするときの、**服薬指導**という仕事についてお話ししたいと思います。

薬剤師法25条の2において、「薬剤師は、販売又は授与の目的で調剤した時は、患者またはその看護にあたる者に対し、調剤した薬剤の適正な使用のために、必要な情報を提供しなければならない。」と、記されています。

お薬をお渡しする際に、

1 処方された薬を、1日に何回いつ飲むのか、1回どれだけ飲むのかなどの確認	など、薬剤情報提供書をお見せしながらお話ししています。
2 新しく処方された薬についての説明(効能、気を付けることなど)	これは、皆さんに薬を 最も有効、かつ安全、そして安心して使用していただく ために、大切なことなのです。
3 薬を飲んで変わったことはないか、症状は改善しているか	
4 他に薬は飲んでるのか、健康食品やサプリメントはとっているか	初めて来局された時、問診表に記入していただくのも、アレルギーや副作用を確認し、併用による相互作用がないか、などチェックするためです。

また、重篤な副作用などが報告された場合、厚生労働省から「緊急安全情報」が出されます。その時点で、該当する薬をお飲みの患者さんに連絡させていただきます。連絡先の記入もお願いします。

1 飲む回数、量が変わっていないか	
2 症状・血圧・検査値などをお聞きし、新しく処方された薬の 効能・副作用 の説明	
3 副作用の 初期症状 を聞き取り未然に防ぐ	
4 併用薬との相互作用の発現や、重複して処方されていないか	

必要があれば、処方箋に確認をとることもあります。その時はお待ちいただくこともありますが、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

急いでおられる方、体調のおもわしくない方は、どうぞお申し出ください。

あゆみ薬局

<新しく掲載した内容>

- ・五十肩・・・医療懇談会のダイジェスト版
- ・医薬品副作用被害救済制度・・・
この制度をより多くの方に知っていただくために、局内でのポスター掲示だけでなく、一人一人の患者さんにわたるよう、薬情裏面に掲載した。
- ・「平和」を考える・・・
健康を願う薬剤師として、「平和」への願いはゆずれない思いということで、8月に掲載した。

＜今後の取り組み＞

アンケートの意見をふまえた内容、タイムリーな話題について掲載していきたい。

・アンケートからリハビリ、食事についての要望があった。

これらについては、専門外のことなので、地域の医療機関とも連携し、掲載していきたい。

・インフルエンザ。何といたっても、今関心が高いテーマの一つである。当薬局では、局内に2か月に1回ポスターを掲示している。ポスターでは「予防について」、一人一人の患者さんにわたる薬情裏面には、「インフルエンザにかかった時の対処」「タミフルについて」など、ポスターと薬情裏面の特徴を生かした内容を掲載していきたい。

（ただいま作成中

です）

<服薬指導充実に向けて、薬情裏面はツールとして活用できるのか>

- 季節的な話題（熱中症、花粉症など）、大部分の患者さんが経験したことがある疾病（便秘、腰痛、五十肩など）について、おおいに活用できている。
- アンケートの結果や窓口で、患者さんから「楽しみにしているわ」「ファイルにして保存しているよ」など好評で、コミュニケーションのツールとして、定着してきたと実感している。
- 患者さんの身近な話題を取り上げ、薬剤師の専門性を活かした内容を掲載し、活用していきたい。